

明るく元気の出る町

平成9年8月1日発行・毎月1日 編集・発行 秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1997 8

NO.509

夏



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

八塩いこいの森でキャンプ！

9年度少年自然教室にて

地場産業センターが完成

交流人口を含めた町の活性化を

ふれあいプラザ
“ふれっそ”オープン

道の駅「東由利」内に平成八年より建設していた地場産業センターふれあいプラザ“ふれっそ”がこのたび完成し、七月十九日にオープンしました。当日は、快晴の空のもと、午前十一時のオープン前から町民らが訪れ、オープンを待ちかまえて長い列を作っていました。

交流人口を増やし町活性化につなげるべく、町が平成四年度から老方地区で進めてきた第一次ふるさとづくり事業は、道の駅「東由利」、黄桜温泉「湯楽里」、食事処「やしお」に引き続いて地場産業センターがこの日完成したことに一応の完了を見ました。

地場産業センターは鉄骨造平屋建てで二千八百九十五平方メートル、総事業費が四億七千八百四十九万円の施設。

その内訳として、展示フロア千九百十平方メートル（店舗区画・七）、試食



▲関係者らにより、テープカットが行われた



「活性化のために“ふれっそ”が果たす役割に期待



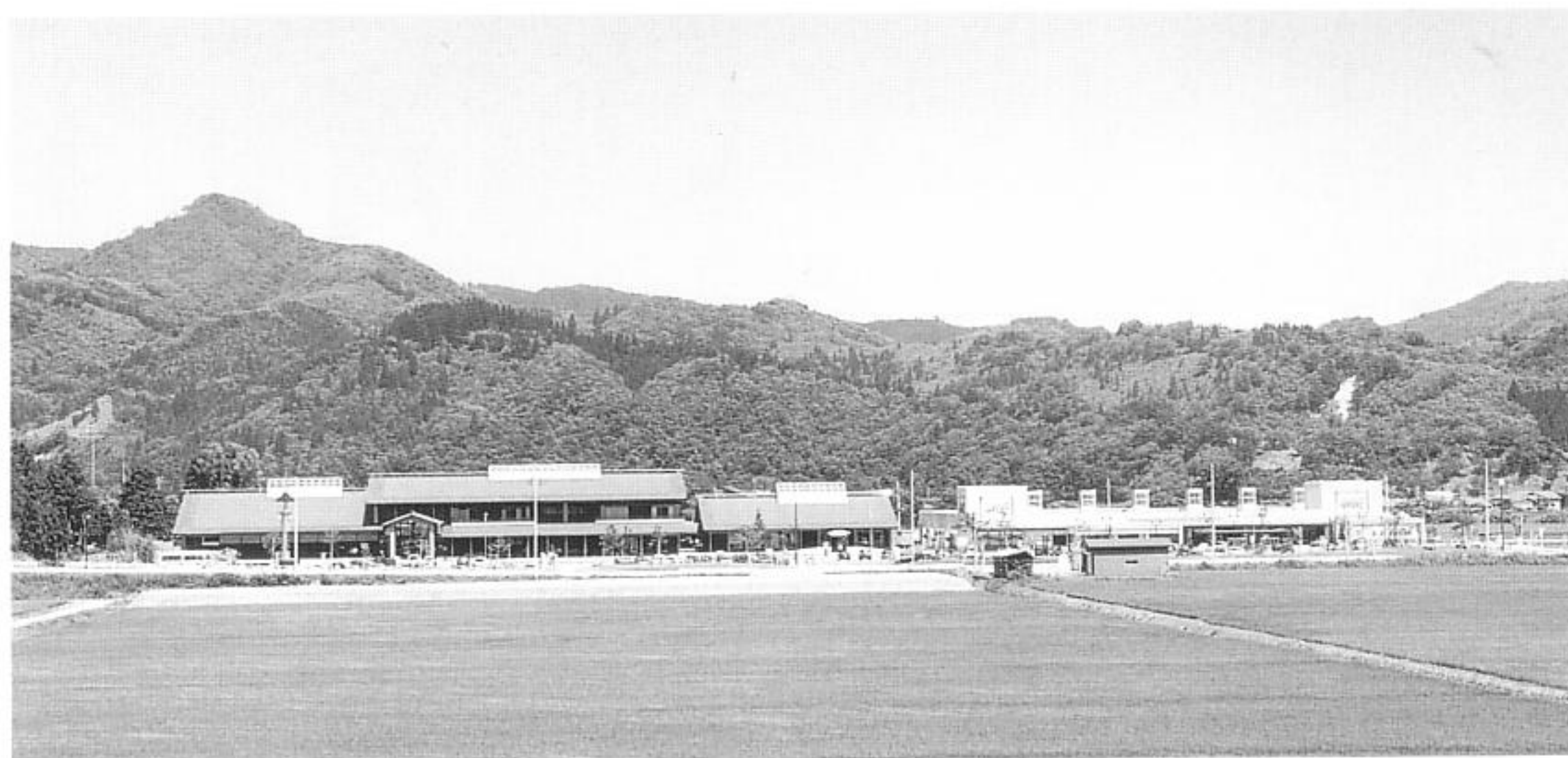
▲オープンと同時に賑わった“ふれっそ”

コーナー百五十八平方メートル（店舗区画・二）、情報コーナー五十七平方メートルなどがあげられます。

当日、オープンの先がけて行われたセレモニーでは関係者による神事、テープカットが行われ、ふれあいプラザ“ふれっそ”の誕生を祝いました。

オープン前から長い列を作っていたお客さんは、オープンと同時に施設内に入り、買い物や情報コーナーで町情報の検索をしたりしていました。

また、ABSラジオ「出前民謡」収録もあり、本町出身の浅野和子さん、竹美さんの唄が“ふれっそ”に響きま



ふれあいプラザ“ふれっそ”の完成をもち、 完了をみた第一次ふるさとづくり事業



ふるさと情報映像視聴システム 2分間のビデオ映像で町紹介



ふるさと情報拠点システム
写真とナレーションで町等紹介

幅広い情報発進基地として整備



地場産業センター内、情報コーナーに設置された機器はそれぞれ「ふるさと情報映像視聴システム」、「ふるさと情報拠点システム」といいます。

前者では町の十一項目に分かれたキーワードに基づいて作られたビデオ映像がボタン一つで視聴することができます。

後者では画面に触れることによって、町、近隣市町村、県内、東北各地の広域的な情報がフルカラー画像、文字データ、音声データとして収集できるものです。

マルチメディアによるふるさと情報提供



7月3日、町から“ふれっそ”の管理を委託された(株)東由利ショッピングプラザ理事長に鍵が手渡されました。

お客さまが喜ぶ店づくりを

ふれっそ代表に鍵渡し



オープンに先立ち7月7日、“ふれっそ”で働く従業員が一堂に集まり、結団式が行われ、「損得より善悪をモットーに」と誓い合いました。

損得より善悪をモットー

ふれっそ従業員結団式

町イメージアップと、住む人が誇りに思える塔に

陸の寄港地シンボル塔、同時完成



▲シンボル塔は道の駅の灯台でもある

“ふれっそ”のオープンと同時に駐車場及び「黄桜の里」シンボル塔も同時に整備されました。

道の駅駐車場入り口に設置された高さ12メートルのこの塔、電気時計と回転式のサーチライトが取り付けられており、夜にはサーチライトが回転、煌々と灯ったあかりが道の駅の目印になります。

テーマは「陸の灯台」です。テーマが意味するところは二つあります。一つは船の寄港。船の寄港地のように道の駅が永くドライバーの休憩地でありたいこと。二つ目は道の駅が、夜間でも遠くから視認できるものでありたいというテーマです。

町イメージアップと、住む人が誇りに思える塔にしたいものです。

県内初設置!

人に優しい自動販売機



入り口に設置された県内初設置の販売機、車椅子に座った方も座ったままで楽々利用できるものです。

町長日記

ふれあいプラザ「ふれっそ」の開業

七月十九日に東由利町地場産業センター「ふれっそ」が竣工しました。平成四年度から始まった東由利町地域活性化事業の最後の施設整備になるものであります。

平成三年十二月建設省の「道の駅」構想が新聞に報道されました。道路にも駅があつていいのではないかと考えに、我が町の位置がびつたりであり、定住人口は残念ながら漸減をしていることだし、この国道一〇七号を通過して行く大変な数の車輛・人を一定時間我が町にストップさせることができた大きな活力になって行くのではないかと考え、すぐにこれに立候補したのでした。

その拠点を議会とも議論を重ねて、町の中心地の老方地区と決め、地権者の皆さんのご理解も得て、東由利町活性化事業として自治省のふ



▲相談協力員研修会のもよう

在宅介護関係相談件数、九百六十六件におよぶ

町在宅介護支援センター運営協議会
並びに相談協力員研修会

七月十八日、朋楽荘で町在宅介護支援センター運営協議会並びに相談協力員研修会が行われました。

この協議会の事務局はいちよう館内にあり、町内の相談協力員四十一人が在宅介護に関する相談業務の委嘱を受けています。

研修会では東光苑の畠山孝主任介護員から、「施設現場からの報告」、由利福祉事務所の船木和雄主席課長補佐から、「介護保険制度について」と題し、それぞれ話題提供がありました。

平成八年度事業報告では、九百六十六件もの相談があり、七年度に比較して百六十九件もの相談が増加したとの報告がありました。

男女比では三対七と圧倒的に女性が多く、在宅介護は女性に負担がかかっていることが浮き彫りになりました。

相談区分では、介護用品についての相談が二百七十八件と最も多く、最近の傾向として施設入所に関する相談件数が増加しているとのことです。

町の六十五歳以上の高齢化率は現在二八パーセントにおよんでいます。間近にせまる介護保険制度施行。ケアマネー・ジメントの技能を高めつつ、支援センターの機能強化が望まれます。

るさつづくり事業に採択をしてもらいました。「道の駅」は村岡先生のご尽力で即採択になり、県の事業として四年度からはじめて戴きました。面積も当初計画の倍の敷地にしてもらいました。駐車場は広いに越したことはありません。

懸案事業のひとつになっていました、温泉掘削事業も改めて議会とも議論して久保地区と決め、成功報酬で事業化したのがこれも四年度でありました。我が町初めての温泉が確認されたのが五年度になってからであり、温度・湯の量を十分に確かめてから、「道の駅」に加えて温泉保養施設として事業化を図ったのでありました。

また同時に東由利町産の食材の提供もできたらと農業構造改善事業での補助事業をお願いしてこれも採択を戴きました。

これらが道の駅「東由利」、温泉保養施設

「湯楽里」、お食事処「やしお」として平成七年十月七日にオープンになったのであります。いまこれらの施設が私たちの期待に大きく応えてくれています。今まではただ通過するだけの町であつたのが一時滞留は勿論、今では我が町をわざわざ目指して来てくれる人も多くなっております。

そしてこの地場産業センター、ふれあいプラザ「ふれっそ」の竣工であります。町の持ち分は屋根と外壁に駐車場工事であります。これにテナントとして八人の皆さんが入りになり内装工事をしてもらうというものであります。

この事業は町民の生活の利便性を図るという目的であり、また五〇パーセント足らずの小売吸引力指数をもっとも上げてもらいたいとの思いを込めた商業振興の事業でもあります。私たちの思いに大きく応えてくれますようにと祈念しながらテープカットを致しました。

東 由 利 新 聞

第一分団（斎藤真一分団長）総合優勝を飾る

白熱した競技を展開した各分団



▲総合部門で1位、賞状を受け取る1分団

平成9年度 消防訓練大会

練大会。開会式では、畠山勉新消防団長が「各分団とも大変だったろうがスムーズに新体制に移行できたようだ」と触れ、「災害は忘れた頃にやってくる、町防災に今後とも励んでほしい」と初めての訓示を行いました。

七月二十日、梅雨が明けた快晴の空のもと、平成九年度町消防訓練大会がげんき館駐車場で行われ、消防団員、婦人消防団員ら関係者三百人余りが参加しました。

今回は昭和五十五年以來十六年ぶりに消防改革が行われた後、初めての訓

競技は五小隊が出場した通常点検及び小隊訓練、二班が出場した自動車ポンプ操法、十四班が出場した小型ポンプ操法で各々競われ、その総合成績により総合優勝分団が決められます。

町消防団員として、消防規律訓練並びに消防機械器具の取り扱い及び操作



▲規律部門では4分団が1位。8月2日に行われる郡大会での活躍に期待が

に習熟しているかを競うだけに、日頃の成果を発揮すべく、各分団ともに本番さながらの白熱した競技を展開しました。

審査員採点の結果、総合で一分団、規律訓練で四分団、ポンプ車操法で一分団一班、小型ポンプ操法で五分団一班がそれぞれ優勝しました。

なお、規律訓練、ポンプ車操法、小型ポンプ操法の優勝分団は、八月二日に本荘市で行われる由利郡支部消防訓練大会に出場します。各分団の健闘が期待されます。

消防訓練大会綜合成績結果

（ ）内は指揮者・敬称略

◆総合の部

- 一位 一分団（分団長・斎藤真一）
- 二位 四分団（分団長・小笠原慶悦）
- 三位 三分団（分団長・畠山昭一）

◆規律訓練の部

- 一位 四分団（小笠原慶悦）
- 二位 一分団（斎藤真一）
- 三位 三分団（畠山昭一）

◆ポンプ車操法の部

- 一位 一分団一班（長谷山 肇）
- 二位 二分団一班（遠藤 信弘）

◆小型ポンプ操法の部

- 一位 五分団一班（佐々木静八）
- 二位 五分団二班（佐々木善永）
- 三位 四分団一班（伊東 一夫）

首都圏在住20代の皆さんへ

由利地区出身者及びその二世、三世の二十代の皆さん。九月八日から十日まで本荘由利地区にいらつしやいませんか。

海・山・高原がー帯となった魅力あふれる自然。アウトドア体験を通じその魅力にふれてみませんか。宿泊、食代等は県が負担いたします。（交通費各自負担）。なお参加者には一年間のモニターング（謝礼金有）があります。

問合せは東由利町商工観光係まで（0184-69-2113）締切八月八日

児童扶養手当のお知らせ

父母の離婚などにより父と生計を同じくしていない児童、又は父が障害者である児童に対して、その家庭の生活の安定と自立に役立つよう手当を支給し、児童の福祉の増進を図ることを目的とした手当です。

■手当の支給要件

十八歳までの児童、または二十歳未満で中程度の障害を有する児童がいる母や養育者。ただし老齢福祉年金以外の国民年金、恩給、厚生年金などの公的年金を受けることができる人には、手当が支給されません。また日本に住所がなければ手当は支給されません。

■手当月額（平成九年四月一日現在）

児童一人（全部支給者）四一、三九〇円
 （一部支給者）二七、六九〇円
 児童二人（全部支給者）四六、三九〇円
 （一部支給者）三二、六九〇円
 児童三人目以降一人増加することにより三、〇〇〇円加算

■所得の制限

受給資格者や扶養義務者の前年分の所得額が政令で定める額以上であるとせば、その年の八月から翌年の七月まで手当の一部または全額が支給されません。

■請求の手続きと手当の支払い

児童扶養手当は受ける権利があっても申請しないと受給できませんので、

次の添付書類を提出してください。

- ・請求者と対象児童の戸籍謄本または抄本
- ・世帯全員の住民票の写し
- ・公的年金証書の写し
- ・請求者名義で、支払いを希望する金融機関の通帳写し（郵便局除く）
- ・その他必要書類

手当は請求した日の属する月の翌月分から支給されます。

支払いは四月、八月、十二月の年三回、支払月の前月までの四カ月分が請求者の希望した金融機関の口座に振り込まれます。（支給月の支給日が、日曜若しくは土曜日又は休日になる場合はその日の直前の日が支払日）

特別児童扶養手当

精神または身体に障害のある二十歳未満の児童について、児童の福祉の増進を図ることを目的として支給される手当です。

■手当の支給要件

手当を受けることができる人は、児童を監護する父、もしくは母または父母にかわってその児童を養育している人です。ただし児童が福祉施設等に入所している場合や、障害を事由として公的年金を受けることができる場合は支給されません。

※両手当について、詳しくは町民課町民係（69-2117）の窓口まで

今年の新人です。（四月一日現在） 「町の皆さん、よろしくお願いします」

黒 淵 高沢稔
 津 沢 阿部誠普
 向 田 横山真喜子 横山慶和
 泡ノ淵 高橋英樹 佐藤晶子
 下小屋 佐藤直人
 高戸屋 小松裕樹
 田 代 小野泰良 小松茂明
 下小路 小松正喜 遠藤桂
 宇戸坂 高橋秀和 小松瞳 出原聖紹
 館 西 遠藤仁
 八日町 小松公偉知
 五海保 畑山孔
 久 保 小松町果 工藤美和子
 松 柴 小松雄一
 新 沢 菊地智也

須郷田 小野裕子
 館合新田 小松嘉明 畠山恵理子
 新 町 鈴木啓靖 菊池（今野）芳
 横小路 千葉結香 畠山和憲
 中 通 小松賢二 高橋賢伍
 下 通 小野嘉史
 湯出野 長谷山和香 小松喜恒
 寺 田 佐藤紅畠山明美 柿崎竹美
 上 里 高橋美由紀
 横 渡 小野敦子 小野佳純
 蔵 阿部等 阿部秀美 大庭司

蔵新田 大日向将也

島 畠山久志

宮ノ前 大日向昌幸 大日向歩

黒 沢 小松智恵子 小松蘭子

野 田 工藤智恵子 工藤千春

新 処 遠藤恵理子 工藤真由美

小 倉 遠藤一弘 遠藤由美子

中ノ沢 千葉弘章 工藤恵

大 琴 佐々木知子 大庭真悟

船 木 大庭朋和 大庭晴美

下 吹 畑山敦

宿 遠藤裕子 鈴木由季子

沼 鈴木治 遠藤牧

杉 森 阿部由紀子

畑 村 斎藤美幸

■なお、お問い合わせは公民館まで。

いい歯のお年寄り大募集！

県では「よい歯でかんで健康ライフ推進事業」を展開、八十歳を過ぎても二十本以上の歯のあるおじいさん、おばあさんを表彰しております。家族や知り合いなどでお心あたりのある方はぜひご連絡ください。昨年まで申し込みをした方も再度応募できます。

▼一、対象となる方

大正六年十一月八日以前に生まれた方

★現在、自分の歯の数が二十本以上あること。（治療した歯やむし歯があってもかまいません）

▼二、申し込み期日

平成九年八月二十九日

▼申し込み先

本荘保健所（22-4120）

または役場福祉課（69-2118）

小特集 衛生的な生活

その1

O157を防ぐ

を守るために

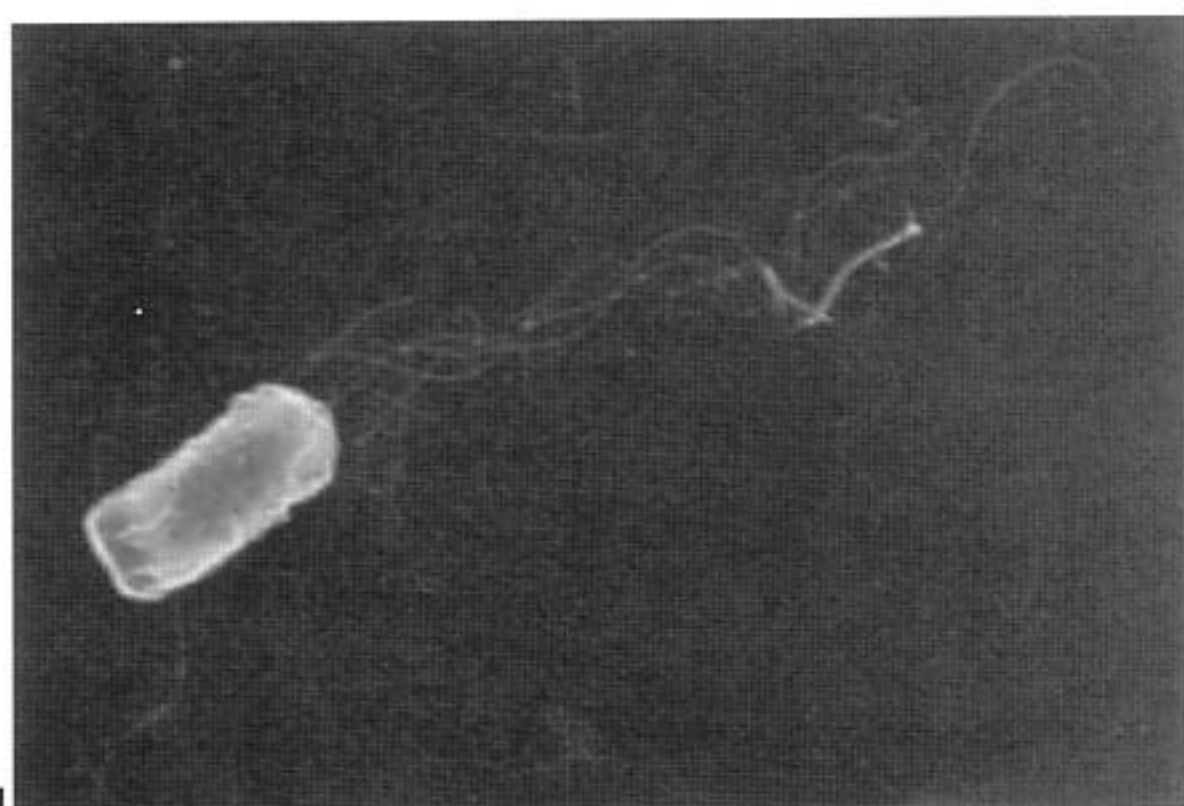
病原性大腸菌O157とは？

大腸菌は家畜や健康な人の腸の中にもいる1～2ミクロンの細菌。無害のものが多いが、人に下痢などを起こさせる病原性大腸菌と呼ばれる種類がある。O157は157番目に発見された病原性大腸菌（現在173種類）の意味。家畜の糞便から見つかることが多い。

O157は、病原性大腸菌のなかの腸管出血性大腸菌に分類され、毒性の強い「ペロ毒素」を出すのが特徴。腸炎ビブリオの約1万倍ともいわれる強い感染力をもち、わずか数百個の菌が体内に入っただけでも感染する可能性がある。

加熱しない食品はよく洗う。

O157感染の媒体になりうる」と



▲長いべん毛を持つO157（写真：国立感染症研究所）

昨年過去に例を見ない規模で全国に食中毒を発生させた病原性大腸菌O157。

これまでにすべての都道府県で発生し、9,700人に上る感染者と13人の死亡者が報告されています。（平成9年5月末現在）。

給食センターや飲食店などで厳しい予防体制が講じられる一方、一般家庭での食中毒発生が目立ってきています。

「いつ、どこで食中毒が発生してもおかしくない」。O157の汚染は、多くの専門家がそう警告するほどの全国的な広がりをみせています。

O157は感染から発症

までの潜伏期間が四～八日

と長いため、感染ルートが解明

できないことが少なくありませ

ん。原因食品と特定できたもの

も、その種類は牛レバーから野

菜サラダまで多岐に及んでいま

す。

厚生省では、「広範な食品が

O157感染の媒

体になりうる」と

しながら、「特に熱を通さない

食品の取扱いに注意が必要」と

呼びかけています。ビニール包

装してある野菜やカット野菜は

調理前によく洗い、肉や野菜は

中心部まで十分に加熱して食べ

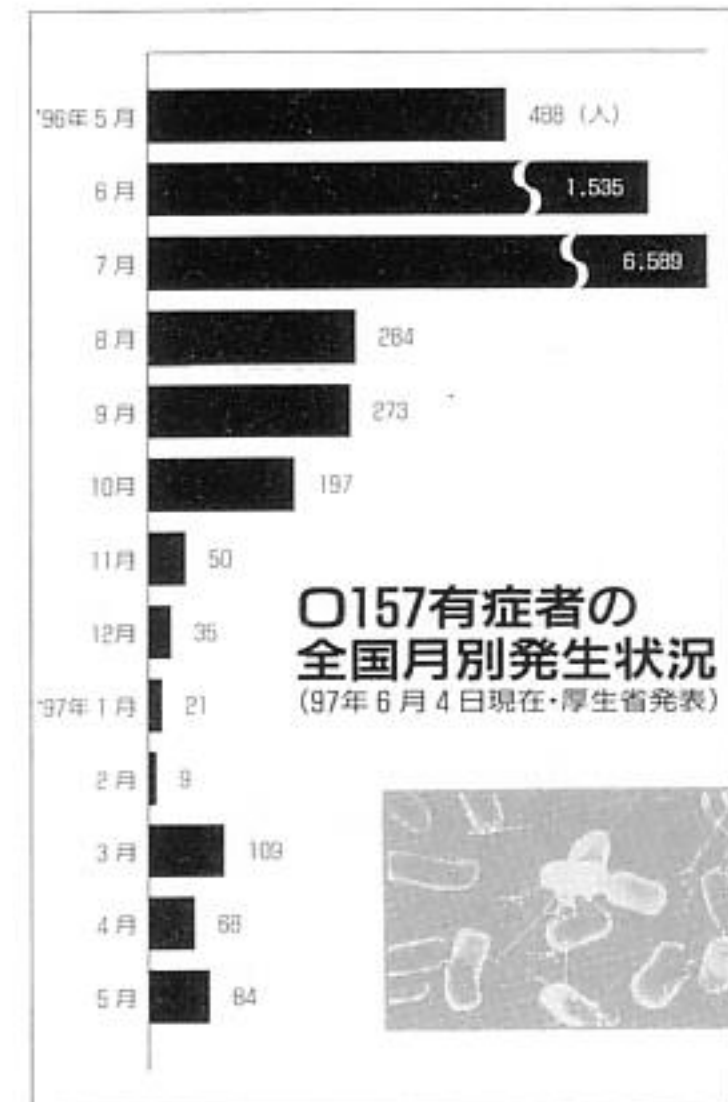
る必要があります。

注意すべき食中毒菌は、O1

57だけではありません。昨年

最も多く発生した食中毒は、サ

ルモネラ菌（肉、魚、卵が原因



●時間がたち過ぎた食品は、思い切って捨てる。



食品、加熱に弱い）によるもので、報告されているだけでも全国で千六百三十人の食中毒患者が出ています。

気温や湿度が高く、食中毒菌が繁殖しやすいこの時期、食品の保存や調理の方法、台所や調理器具の衛生管理には十分注意する必要があります。

食品を取り扱う時は、その前後に必ず手を洗いまししょう。

その二

粗大ゴミ等処理

最近、あちこちから不法投棄の通報が寄せられております。山林や河川、沢地、林道、峠、道路脇などに空き缶、家電粗大ゴミをはじめ、農機具や自動車までもが投棄されています。

山や川はゴミ捨て場ではありません。川へのごみの投げ捨てや川端でのごみ焼却、燃え残りの放置は勿論、人気のない土地への建築廃材や粗大ゴミの不法投棄は、環境を破壊し美観を損ねる元となります。



▲心ない人による不法投棄。自然も泣いている・・・

不法投棄は法律で厳重に罰せられます

最高50万の罰金

◎お願い

町では環境巡視員を委嘱、各地区の巡視をお願いしておりますが、不法投棄等を目撃、発見した方、心当たりのある方は役場町民課（69-2117）までご一報をお願いします。

◎宅地や所有地へごみを放置、廃棄している方

放置している粗大ゴミは、町の粗大ゴミ捨て場（毎週第二・四日曜日）に持ち込んで処理するか、町で行う六月、十月の粗大ゴミ収集に申し込むなどして、環境保持に努めてください。

「山紫水明の里」東由利町を守るため、ご協力をお願いします。



▲不法投棄通報に駆けつけた駐在さん

その三

紙類ごみ（資源物）

古紙の回収を次の通り行いますので、燃えるごみの減量化と紙類（資源物）リサイクルのため、ご協力をお願いします。

■回収日■

毎月第四水曜日（七月から十二月まで）は次の場所で古紙回収を行います。

黒瀬地区（大吹川・須郷以外）

田代地区（袖山以外）

玉米地区（館合新田以外）

老方地区（新町・横小路・上里以外）

毎月第三水曜日は該当しない他の地区で回収です。

■ごみを出す時間■

午前八時三十分まで厳守。前日には絶対に出さない事。

■対象物■

新聞、チラシ、雑誌、段ボール、紙パック等

（それぞれ仕分けしてひもなどで十字に束ねてください）



▲紙類ごみも立派な資源です

国土調査事業功労者表彰

このたびは社団法人全国国土調査協会会長より、小松和子さん（山崎）に表彰状、莊野洋一さん（下小路）に感謝状が送られました。

これは両名が長きにわたり国土調査事業の実施推進に尽力し、その功労が顕著であるとして表彰されたものです。

二人とも「突然の表彰に戸惑っている。今後ともがんばっていききたい」と喜びを話していました。



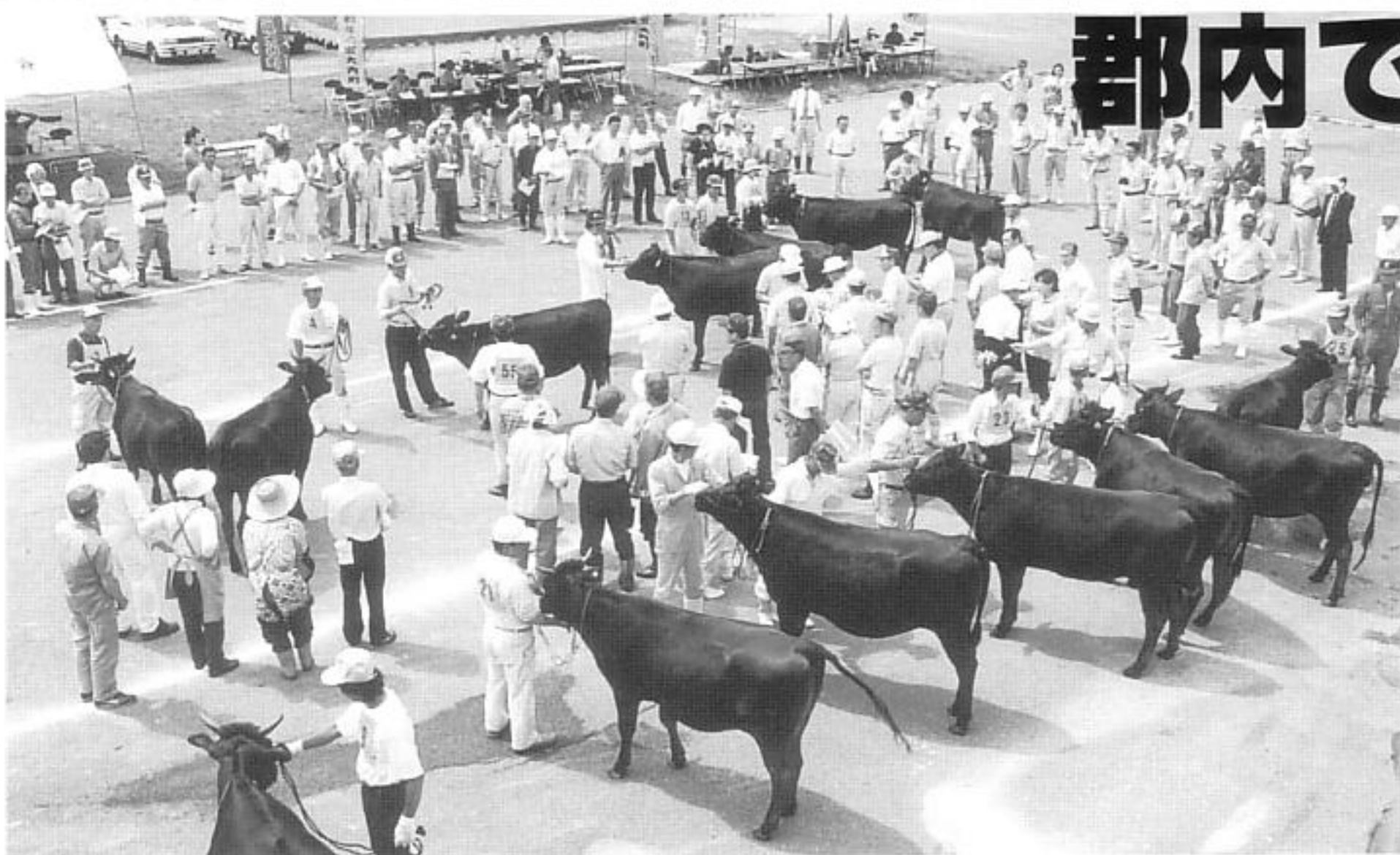
▲喜びの小松さん（左）、
莊野さん（右）

農林ひがしゆり

かかる

団体総合優勝、県共進会に期待

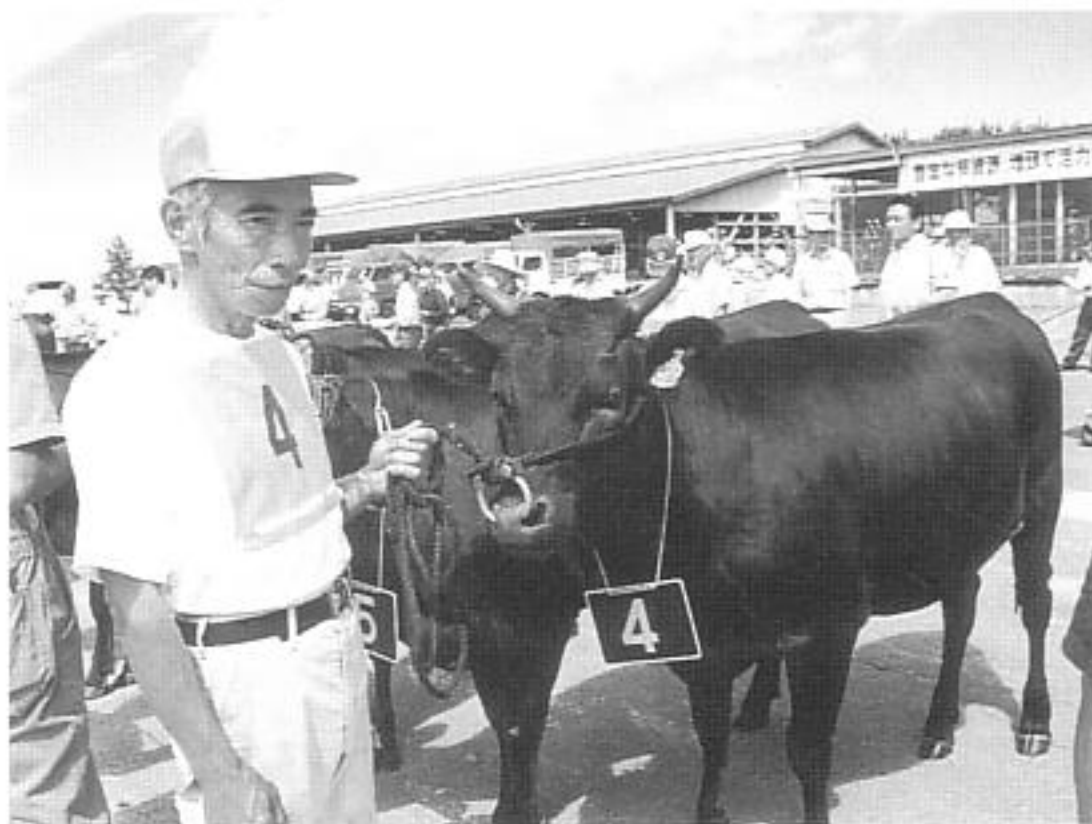
郡内で



▲粒ぞろいの由利牛が出陳された畜産共進会

由利牛の資質競い合う

第33回由利畜産共進会



▲肉用牛若牛一区優等賞のさかえ号

第三十三回由利畜産共進会が、七月十八日に広域由利家畜市場（本荘市石脇）で開かれ、本町からは町共進会で上位入賞した二十四頭（肉用牛十八頭、乳用牛六頭）が出陳されました。

朝六時三十分からの家畜測定では早朝にもかかわらず、会場内は出陳者らの熱気に包まれました。

また団体総合で昨年に引き続いて町が総合優勝、部門別でも肉用牛の部優勝と畜産の町の名を郡内にとどろかせました。

上位入賞牛は、九月五日から河辺町の中央家畜市場で開かれる第八十六回秋田県畜産共進会に出陳されます。

粒ぞろいの牛だけに上位入賞が期待されます。

八時三十分から行われた肉用牛七部門、乳用牛三部門での審査結果は、肉用牛でさかえ（荘野高光・五海保）ほか二セツトが優等賞、二頭が一等賞を獲得、乳用牛ジャージ一種部門でもウイローロマン（畑山克司・島）が一等賞を受賞しました。



▲団体総合優勝を飾った東由利町

由利畜産共進会入賞結果

（東由利町関連連入賞牛）

〔団体総合〕

優勝 東由利町（530点）
準優勝 鳥海町（450点）

〔部門別団体賞〕

●肉用牛の部
優勝 東由利町（390点）
準優勝 鳥海町（360点）
●乳用牛の部
優勝 西目町（170点）
準優勝 東由利町（140点）

〔部門別個人賞〕（出陳者敬称略）

▼優等賞
●肉用牛 若牛一区
さかえ（荘野高光）
●肉用牛 繁殖雌牛群区
ふくこ・さくら・はるみ
（東由利町和牛改良部会・小野邦一・小野長兵衛・小野真一）
●肉用牛 高等登録群区
あきしろ・あきしろ・あきひかり（高橋定雄）

▼一等賞

●肉用牛 若牛二区
やすこ（小松良徳）
●肉用牛 若牛三区
たかふく14（佐々木善一郎）
●乳用牛 ジャージー種
ウイロー ロマンズ ラッキ
ーサンデー（畑山克司）

今年には五千坪を目標に

複合作物の主力野菜・ミニトマト

町の主要産業の一つ、野菜。

今年は春先の天候が比較的良好に推移、畑地準備並びに作物の初期生育は順調、しかし、五月下旬から六月上旬にかけ連続的な日照不足があり、その影響により軟弱生育、生育も十日遅れとなっています。

また梅雨入りしてからは逆に穏やかな天候が続く、それまでの生育も回復しつつありました。が、低気圧の通過で思わぬ強風、豪雨により被害が発生しています。

た。

「昨年は0157の影響があったが千七百万円あまりの売り上げがあった。今年は一バックあたり百三十円の横ばい価格で取り引き。0157の影響はないようだ。また毎年千坪単位で増、今年には五千坪が目標である」とのこと。

「五月に発生した葉カビ病が止まっておらず、灰カビ病の発生も懸念、傷葉の整理及び定期的予防に心がけを」と注意を呼びかけていました。



▲畠山洋さんと奥さんの和栄さん（石高）

石高の畠山洋さんは、昨年よりミニトマト栽培を始めた一人。育苗の後地百八坪を利用してミニトマトを栽培しています。

ミニトマトに挑戦・二年目の夏

畠山洋さん（石高）

今年の収穫量は、まだと

いったところ。奥さんの和栄さんは会社勤めを辞めて洋さんと農業に専念しています。将来はもっと面積を増やしたいが、むしろ同面積で収量増にしたいということです。

また、子供たちに農業は？との質問にはなりゆきまかせです、とひとこと。親がやれなくなつた時、やってもらえたらと話してくれました。

ミニトマトの収穫は、これからが本番です。

四季を通じ八塩に親しむために

林業懇話会現地学習会

7月17日、八塩いこいの森において町林業懇話会による現地学習会が行われ、関係会員ら十余名が参加、ダム湖一周の森林浴を始め、「四季を通じ八塩いこいの森を楽しんでもらうには」などの座談会が行われました。意見交換ではいこいの森整備などが話し合われました。



▲八塩をどうするか、座談会が行われた

七月家畜市場

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
雌	18	279kg	289,508	988
去勢	26	304kg	448,067	1,405
合計	44	294kg	383,202	1,234

●最高価格雌 348,600 高栄 宮桜 栃錦
●最高価格去勢 498,750 北国7-8 菊安 益美

木材共販市況

（平成九年七月・平均価格）

径級	単価/石	備考(前月比較)
直材24cm上	5,868円	—
14~22cm	5,833円	283円
13cm下	3,008円	△142円
曲材9~28cm	2,700円	—

概況/曲がり、13cm下は全く引き合いがないため、トータルで57%に終わったものの、14~22cm、24cm上は強い引き合いで、特に14~22cmは5~7枚もの枚数を集め完売。

林業だより

優勢木間伐

岩手大学元教授安藤貴氏は、スギ林の優勢木間伐について次のように述べています。

スギ林は樹高・胸高直径が周囲よりも大きい優勢木、中程度の標準優勢木、劣る劣勢木に分けられます。

広く行われている間伐は、劣勢木を選ぶ間伐を行っています。このため、間伐しても採算がとれず間伐実行を阻んでいます。

その対策として、利用経級に達して販売に有利な優勢木

を間伐木として選ぶ間伐方法を勧めます。

優勢木の間伐材は、目粗材となるため市場性の評価は低いが、利用経級に達しているため、利用経級以下の多い劣勢木の間伐よりも採算性の向上がはかられます。

その一方で、形質のよい準優勢木を残すことによって、残存木には市場で評価の高い心じまりの材の生産が期待されます。

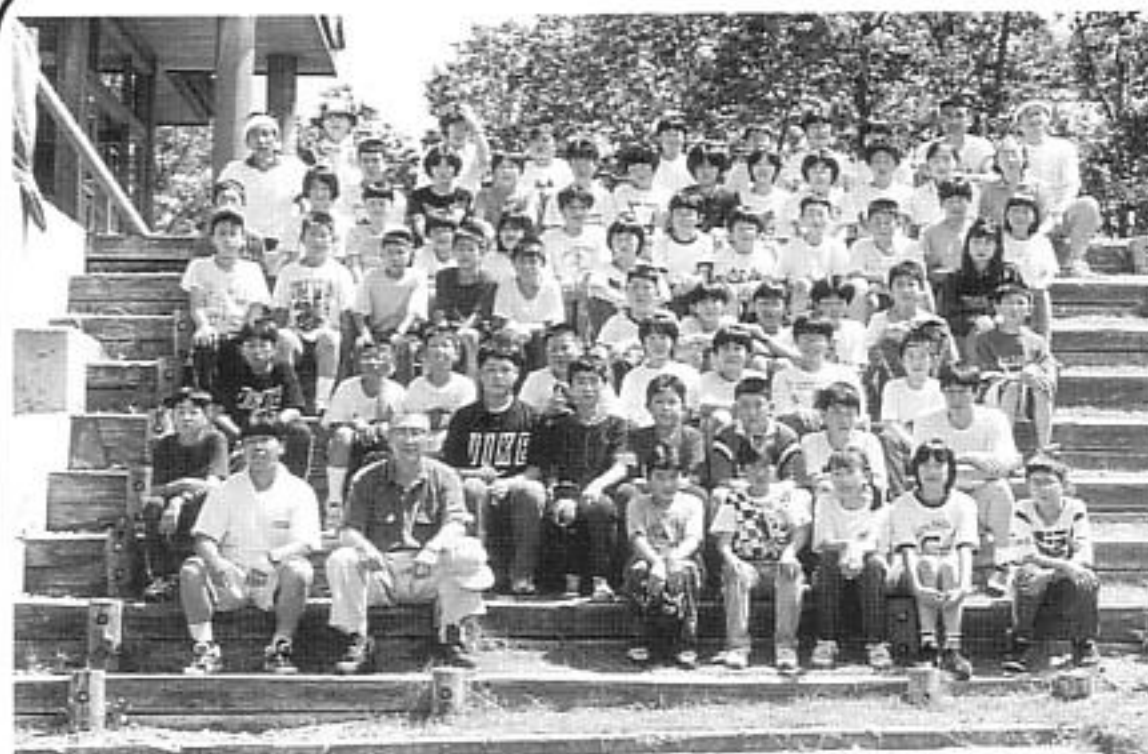
優勢木の間伐は、初回、二回目の間伐時に実施することが重要です。

（町林業懇話会会長

佐藤恒悦氏）

緑あふれる自然の中、親睦深める

九年度少年自然教室



▲疲れたけれど楽しかった少年自然教室

「これは友情の火です。私たちは友情を大切にすることを誓います」と声高らかに誓いあつたキャンプファイヤー。猛暑の中、汗だくで登った八塩山。涼しかった夜のテント生活。

今年も町の小学六年生を対象にした少年自然教室が、七月二十三日から二十四日までの二日間、八塩いこいの森キャンプ場を中心に行われました。

梅雨も明けた初夏の八塩。美しく緑豊かな自然の中、集団生活を

大切なことは自然に接すること

高校生ボランティアスクール



▲ボランティアスクールに参加した高校生

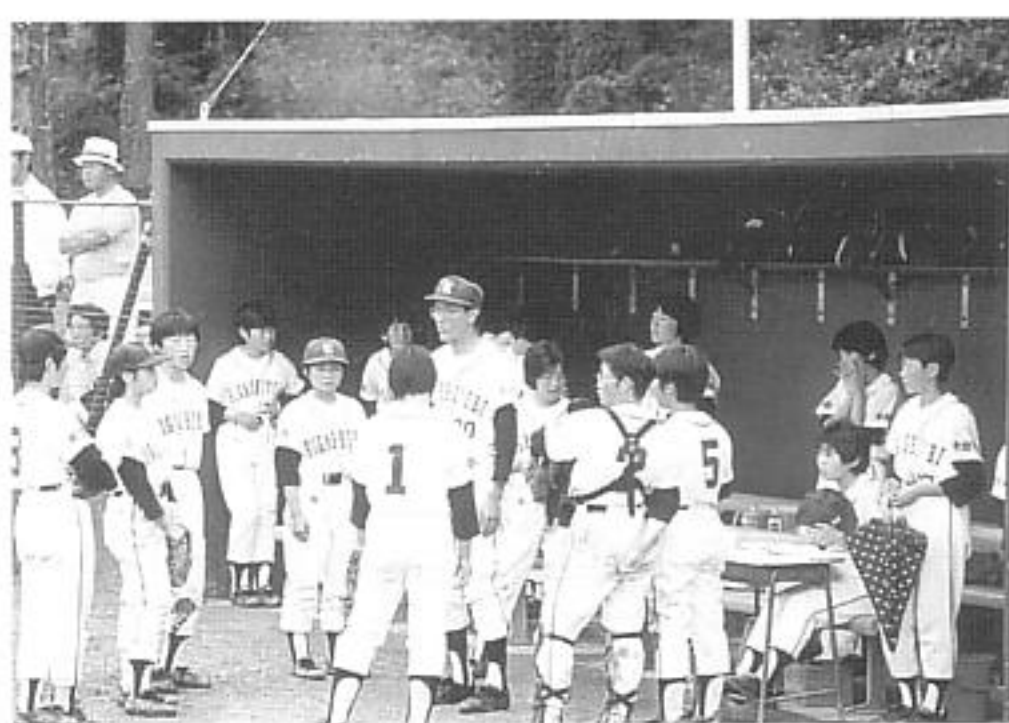
長い夏休みに入る学生たち。本格的な夏を前に人生経験豊富な老年寄りに接しようとして下郷分校生二十余名がボランティアスクール活動に参加しました。

毎年行われているこのボランティアスクール、今年も七月十九日に雄和町の雄高園で活動を行いました。

大切なことは自然に接すること。特別に構えることはない、ボランティアを通じ生徒たちは学んでいたようです。

思い出に残る熱戦を展開

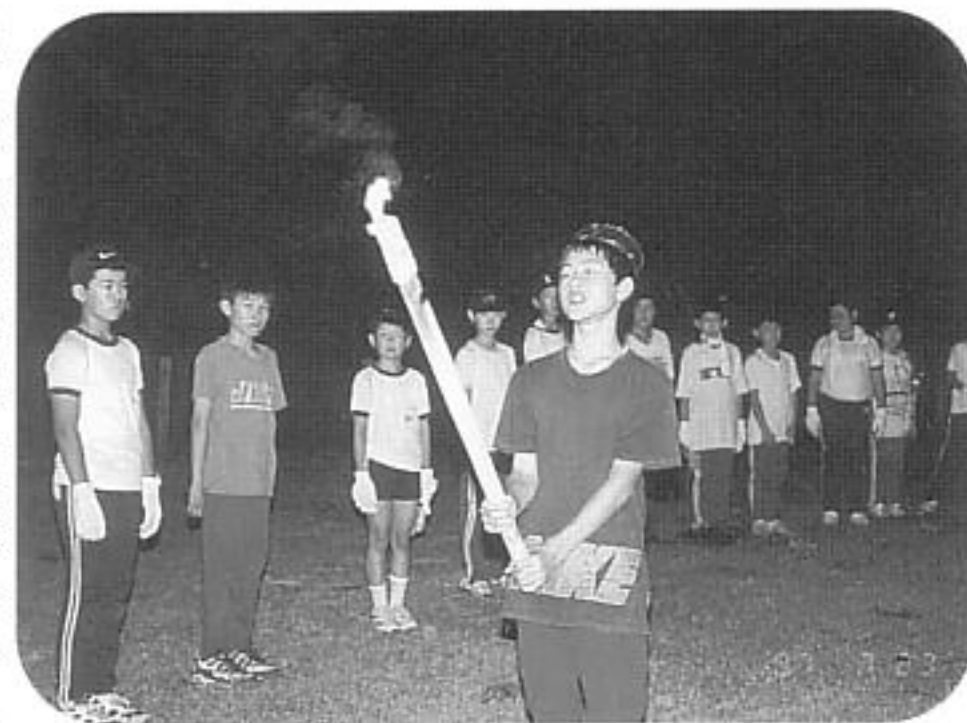
東中ソフト県大会初出場



▲全力を尽くし県大会出場を決めたソフト部

本格的な夏を前に行われた、中学校都市総合体育大会。三年生にとってはこれまでの集大成になるだけに思い出に残る熱戦を展開しました。特に出羽中と対戦した野球部の最終回の攻撃が印象的でした。

また、ソフトボール部の健闘が目ざましく、初めて全県出場しました。能代東中との対戦では、九対二で惜しくも敗れたものの、初出場のプレッシャーに負けず頑張った選手たちに惜しめない拍手がよせられました。



▲キャンプファイヤーを通じ友情を・・・

通し、学校生活や家庭では得られない友情と親睦を深めあいました。最初緊張した他校生との交流も、時間がたつとともに、慣れたようでした。

館合第三寿会、花植え

環境作りは自らで、と館合第三寿会の会員、二十余名が花壇に花を植えました。毎年行っているこの作業、今後も続けていきたいとのこと。会では神社等の清掃奉仕も行っています。



▲楽しみながら作業する皆さん

町のあっちこっちから

夏のひとときを楽しんだ夏まつり

まつりを通じて地域との交流をと、東光苑、永慶保育園合同による夏まつりが七月二十六日に東光苑前広場で行われました。

園児と入居者による「まんまる音頭」を皮切りに、園児らによるゆうぎ、保育園保護者・家族会による歌と踊りが披露されました。会場では子供たちの晴れ姿をカメラやビデオに収めようとする家族連れが多くみられました。

ブラボー中谷によるマジックショーや歌謡ショー、夜空を彩る花火大会なども行われ、夏のひとときを楽しみました。



▲ブラボー中谷のマジックに飛び入り参加を



▲入居者の皆さんとふれあう永慶保育園児

東光苑、永慶保育園合同夏まつり

町ゴルフ大会開かれる

町ゴルフ協会が初めて主催した町民ゴルフ大会が、七月二十一日、羽後カントリークラブを会場に行われました。

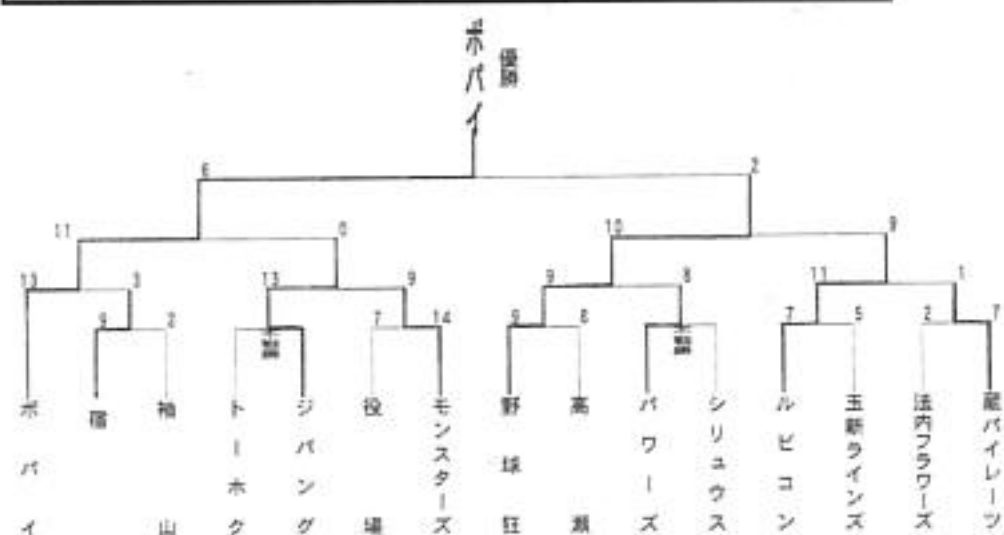
青空のもと行われた大会には三十七人が参加、ゴルフを楽しみました。結果は次のとおり。

- 一位 石綿喜代隆
- 二位 長沼 利文
- 三位 小松 信行
- 四位 渡辺 仁
- 五位 木島 金男
- ベストグロス 長沼利文（74打）



夏・野球の季節

第6回ナイター野球大会結果

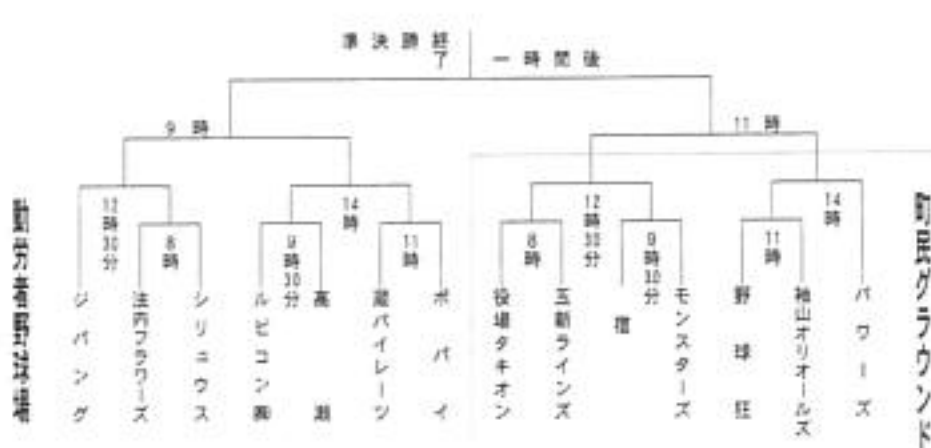


▲激戦の結果、ポパイが3連覇達成

最優秀選手賞・佐藤一裕選手（ポパイ）

優秀選手賞・阿部清隆選手（野球狂）

第39回社会人野球大会組合せ



三十九回社会人野球大会は八月十五日、十六日の両日、勤労者野球場と町民グラウンドで行われます。選手宣誓はポパイです。

高館山背景に、大琴一望

大琴梅の会、梅の実探り

大琴自治会の象徴として大琴の人々に親しまれていて高館山。その高館山を背景にした、長坂の一本松周辺にある公園が大琴梅公園です。

公園からは大琴が一望でき、目を遠方に転じると下吹、大平が。さらに南に町のシンボル八塩山が眺望できます。また西には鳥海山がそびえ立ち、特に夕暮れの風景はまさに絶景です。

平成元年には念願だったあずま屋もでき、地域の人々の憩いの場として親しまれています。



梅の実収穫作業を行う梅の会会員

七月十七日、大琴梅の会（佐々木貞雄会長）会員、十余名が大琴梅公園で梅の実の収穫作業を行いました。今年の梅の実の具合は平年並みとのこと。会長は今後とも活動が続けたいと話してくれました。

東由利文化クラブ

虫歯 なんてない も〜ん。 みどり保育園

()内は保護者

上段三人は四歳児
下段四人は五歳児



よこやまだいすけくん さいとうしんべいくん たかはしけんとかん
智者鶴(一郎さん) 石高(眞一さん) 松柴(寛さん)



たかはしえりさん はたやまななさん しょうのちあきさん おのかつたかくん
館合新田(満さん) 館合新田(吉基さん) 松柴(和浩さん) 須郷田(一彦さん)

手紙ありがとう
広報にお



浜松市・伊賀和子さん
から

表紙の写真がいいで
すね。

四人の一年生の明る
い笑顔。先生のやさし
い指先。神戸の事件と
はほど遠いうらやまし
い学校生活ですね。

木更津市・梅津潤二さ
んから

故郷の空気を毎月心
から吸っています。七
月号の「大台分校特集」
の記事を胸を熱くして
読みました。

童話を

あなたに

おにの子あかたろうが、外から帰
ってくる家の中におかあさんの姿
がない!。探すうちにいいことを思
いつきました。それは電話
をかけておかあさんをさが
すこと。さてあかたろうは
おかあさんを見つけること
ができるでしょうか。



あかたろうの123の3

45 / 作絵・北村葉子

●本紹介・文
小野邦子さん(宿)

子供にしてみれば電話は不思議な
おもちゃでしょうね。いろんなところ
に繋がりが話ができるのですか
ら。小さい子が口にする「もしもし
する」。きくと電話をしている時の呪
文なんですか?。だあれもいな
い家でこっそり電話をかけたことな
んか、幼いころ一
度くらいありませ
んか?

東由利の文芸

せせらぎ句会

銀山の墓石に苔の月日かな
雨季さ中肩を寄せ合う無縁墓地
揚羽翔つ銀山川のどろきに
苔むしてかたぶく墓や木下闇
望郷の無縁のほとけ盆近し
梅雨雲となる杉山の霧速し
緑陰の佛にさがす風の道
青時雨小町の里にひと日旅

嶽石 レイ(五海保)
小笠原亮子(蔵新田)
小松 正昭(家ノ下)
大庭喜右衛門(船木)
小野 貞子(蔵新田)
宮野源二郎(横小路)
阿部 澄子(蔵新田)
菊地 常作(湯出野)

花栗の谷の深さにバス傾ぐ
トド松の茂みも暗き御幸杭
夏鶯御番所跡にふみ入れば
峠越え額あじさいの青さかな
文字うする小さき墓よ苔むして
鶴嘴の余韻はおし草茂る
閉ざされし坑口にすがりて蕨青葉
青田風粧ふ小町の市女笠
押合いて逆まく峽の梅雨出水
御幸坑奥より流れでる清水
廃坑の崩れし壁や五月闇
涼風や古坑道の塹あと
無縁佛在りし日の労苦しのぼる小松
幹太き路は秋田よ簾の囲い

吉川 葉子(時雨山)
小笠原トミ(蔵新田)
小松 敏雄(高戸屋)
小松順之助(中通)
小松 良子(山崎)
小野石路子(上里)
高橋ヒデ子(横渡)
遠藤トミ子(小倉)
小松 女沙(下小路)
高橋民治郎(袖山)
小松 忠正(下通)
佐藤 正義(湯出野)
徳蔵(湯出野)
嵯峨 義之(秋田市)

私の一冊

作者である大西良慶さんが、清
水寺貫主だった当時の法話を中心
に、自らの百年にもわたる人生を
語った本です。
自分自身が自己嫌悪に陥った時
などに読むと心が静かになりま
す。

心、苦、愛情など様々な項目に



富山英子さん
(下通)

ゆっくりしいや・
百年の人生を語る
／大西良慶

分かれて書かれていますが、どの
項目を読んでも歩んできた百年の
重みを感じられます。
人間の心は弱いものだから、心
の中に神様のような存在をもつべ
きだという言葉が印象的です。
また、自らの座に正しく座る、
という言葉にも共感をおぼえま
す。とかく自分より他人をよく見
がちですが、自分の立場を自覚し
て、私は私なんだと思うことがで
きたら楽になれる、ということだ
ろうと思います。

新着本紹介

公民館図書室より

今月もたくさんの方が入荷しま
した。お気軽に利用してください。
▼ロングバケーション▼渡辺淳一
全集十一▼日本野生植物館▼毛利
元就・二▼続・星の金貨・上▼ト
ラッシュ▼ふたり▼源氏物語▼ユ
ネスコ世界遺産・七▼ちひろ美術
館・三▼長谷川町子全集・五▼故
宮・四▼郷土資料事典・中部編▼
太陽・七月号▼世界歴史・七▼人
づくり風土記▼さきがけブックス
▼るるぶ九州▼暮らしの手帖▼日
録二十世紀7/8号〜7/22号

アイドルをさがせ!

くわさきほのかちゃん
(9ヵ月・松柴)

お父さん:正人さん
お母さん:恵雅さん

とにかく元気な子供です。日中は両親ともに共働きですので、母にあずけているのですが、大

変みたいです。夜泣きをしないのは助かりますね。
名前はなんとなくやわらかいイメージがするような名前を考えたつきました。
好きなものは、テレビのお天気番組です。真剣に見ています。近所に同年代の子供がいなくて淋しいです。
将来は自然に自由に生きていくって欲しいです。



▲いつも笑顔のほのかちゃん

私たちががんばってます!

生活研究グループの押し花研修

7月22日、老方館で生活研究グループ連絡会による押し花研修会が行われました。

昭和53年に始まったこの研究会、毎年テーマを決めて研修を行っています。今年のテーマは押し花です。

会では農村女性の立場で地域づくりをとがんばっています。



▲熱心に研修を受ける会員の皆さん

初めての写真展

下郷分校二年

齋藤広子さん

写真部に入り初めての写真展が七月四日に秋田市でありました。

私が出した写真は「八本杉」のあたりの景色を撮ったものです。木々の間から光が射し込んでいます。森の静けさがとてもよく表われていると思います、これでいこうと決めました。

この展覧会は、展示する作品の審査が事前に行われます。審査方



法は三人の審査員が、優れた作品にそれぞれ手を挙げるというもので、多くあがれば、それだけ展示される可能性が高いのです。



ですから、会場ではとても緊張し、一人でも手を挙げてくれたら、と祈るような気持ちで自分の番を待っていました。

しかし、他の作品の素晴らしさに、あきらめの気持ちだけが次第に膨らんでいきました。

いよいよ私の番になりました。おそろおそろ顔を上げると、一人の先生が手を挙げてくれていました。どう表現すればいいのか、その場では頭が真っ白になってしまいました。

しかし、結局入賞することはできませんでした。悔しさが徐々に込み上げてきました。

もっと経験を積んで、この秋の展覧会に賭けたいと思います。

ふるさと むかしむかし

(文と絵:石渡力造氏)

蔵むらの大洪水

「大変だあー大変だあー」。村々の板木をたたく音が鳴りひびきます。

明治二十六年七月のこと、二、三日来降り続いた雨は川いっぱいの大水となり、夕方頃には村人も大騒ぎするほどの洪水となりました。

濁流は田んぼや土手、崖を呑み込み、渦を巻いてものすごい勢いで流れるのでした。

村々にかかっている一本橋など次々と水の勢いでこわされ流されてきます。ケラや笠の村人達は、口々に大きな声で「……どこどここの橋が流されたぞー」と、騒ぎは大きくなるばかりでした。

前の年の秋にようやく出来上がったばかりの蔵の洞門からは、ドドドッと吐き出すように



濁流が恐ろしい音をたてて流れます。しかし、今のようなコンクリートづくりのトンネルでもない角材で積み支えたような昔の洞門のこと、たちまち流水でせきとめられてしまい、どんどん水かさが増して、ついに蔵むらのほとんどの家は軒さきまで水浸しになりました。

丈夫と思いこんでいましたが、だんだん多くなってきた水は本堂もいっぱいにしてしまいました。お寺さんでは、あり合わせの材料でいかだを組んで、うしろの愛宕山にのがれたそうです。

大洪水は大騒ぎの中で朝を迎えました。水かさが増したあとを見てびっくりしたことに、上里橋から洪水を眺めていた久六さんという方が、そのまま橋ごと流され、横渡のヤナフクロという所に引っかかり、から傘片手に助けを求め、右往左往……。そのユーモラスな姿を見た村人は、昨日の大洪水も忘れ、大笑いしたそうです。

また、蔵の洞門は、濁流で穴の上部が崩れ落ちて、掘り割りのようになっていました。災いが転じて、現在の掘り割りの原型ができたのでした。

※先月号の本欄の石渡力造氏は力造氏の誤りでした。訂正してお詫びします。

8月▶データ東由利

〈6/1〜/30〉

住民基本台帳人口()は前月比

- 男……………2,591人 (1)
- 女……………2,740人 (1)
- 計……………5,331人 (2)
- 世帯数………1,400戸 (△1)

()は1月からの累計

- ・出生5人(13)・死亡4人(36)
- ・転入3人(49)・転出2人(70)

- 火災出動……………0件 (2)
- 救急出動……………7件 (69)
- 交通事故……………1件 (9)
- ・死亡……………0人 (0)
- ・傷者……………1人 (10)
- 飲酒運転……………0人 (0)
- 酒気帯び……………1人 (3)

カレンダー 八月の行事予定

- 1 ことぶき大学
- 2〜3 ふるさとトレッキング(鳥海山)
- 2 郡市消防訓練大会(本荘市)
- 3 道路一斉清掃
- 4〜10 食品衛生週間
- 6 航空防除
- 10 道の日
- 15 町成人式(有鄰館)
- 15〜16 第39回町社会人野球大会
- 16 航空防除
- 20 町戦没者追悼式(有鄰館)
- 24 町スポーツ祭(ゲートボール)
- 25 農業委員会
- 27 農業委員会海外研修(〜9/6)
- 30 防災週間(〜9/5)



皆さんはどんな風に暑い夏を乗り切っているのでしょうか。

私は日中はもう暑いものだ諦めて生活していますが、せめて夜だけは涼しくと、夏をイメージした音楽を聴きつつ、宮澤賢治、荒俣宏、京極夏彦といった幻想文学系の読書三昧で過ごしています。

暑いのは仕方ないから、せめて気持ちだけ涼しくしたいです。皆さん、夏バテには注意を(さ)

東由利

郷土の野草

NO.150

文・写真

小松忠正氏



カラムシ
(イラクサ科)

本州以南の原野に自生する多年草で、アジア大陸では古くから繊維植物として栽培されてきました。日本でも早くから栽培されましたが、今は野性化し、本町では数カ所に見られるだけになりました。茎は直立して一・五メートルくらい、葉は広卵形で互生し、先端が尖り縁に鋸歯があつて裏面に綿毛があります。花は雌雄同株で、雄花は黄白色で花弁四、雄しべ四個で下部の葉腋に穂状に下がり、雌しべの穂は上部の葉腋につきまします。和名は茎蒸(からむし)で、茎を蒸して皮をとったことがらわれます。

広報クイズ

表紙に登場した「八塩いこいの森」。さて
同地内にある青少年交

流施設の名前は?。1 野鳥の家。2 げんき館。3 有鄰館。
回答が分かった方ははがきに答え、住所、氏名、年齢、
広報感想、イラストなどを書いて東由利町役場広報まで。
締切は八月二十日です。前回の正解は「ぶれっそ」です。
長谷山貴博くん(田代)、伊賀和子さん(浜松市)の二
人が当選しました。クイズの応募者が少ない今がチャンスですよ。



戸籍の窓口

(6月21日〜7月20日届出)
お誕生おめでとう

- | | | | | | | |
|----------------|--------------|------------|-------------|--------------|-------------|---------|
| 遠藤 凌くん(賢志) | 高橋 みさとさん(勝義) | 高橋 彩さん(邦夫) | 小野 政貴くん(正志) | 王 藤 瑞貴さん(清山) | 長谷山 諒くん(宗市) | 結婚おめでとう |
| 尾留川 千代子さん(由利町) | 遠藤 哲也さん(館西) | | | | | |

●ごめい福をお祈りいたします
大日向喜さん(87・サタオ・夫) 宮ノ前

町の宝もの

第64回

不動滝(八塩山)

八塩山(七一メートル)の東由利に面した沢は七つあつて、その中の一つを流れるのが写真の不動滝です。

滝は二段に分かれ、上は流れが二条に分かれ、右が二メートル、左が一メートルほどの幅で、高さ



約五メートル、下は高さ約二メートル、幅一・五メートルと見ごたえのある滝です。滝つぼの流木や土砂を取り除くと名実ともにすばらしい滝に見えるでしょう。
滝は鳥居ノ沢の西、百メートルほどの道路から五十メートル入った所にあつて、上流には水量の豊富な風びらの清水があり、水がきれいとはありません。雨が降ったあとは水量も多く、夏は水温が低いこともあつて、風致とともに冷気を十分満喫させてくれます。
滝の由来は右岸のがんくらの不動様を祀っていることからのようです。
(文・畑山昭一氏)